

## 第 16 回東山会イブニングサロン開催報告

東山会 庶務理事  
名古屋大学 大学院工学研究科  
機械理工学専攻 教授

山田 陽滋



### 第 16 回東山会イブニングサロン開催報告

平成 28 年 7 月 8 日（金）18：30～20：00、同日開催されました平成 28 年度第 1 回の東山会理事会に合わせて、名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリー 3F のベンチャーホールにて、第 16 回イブニングサロンを開催いたしました。東山会理事のご推薦に基づき、株式会社 テクノツリー 代表取締役の木下武雄氏（昭和 40 年機械科卒）氏に、「IoT を活用した工場の見える化」と題して、以下の内容のご講演をいただきました。

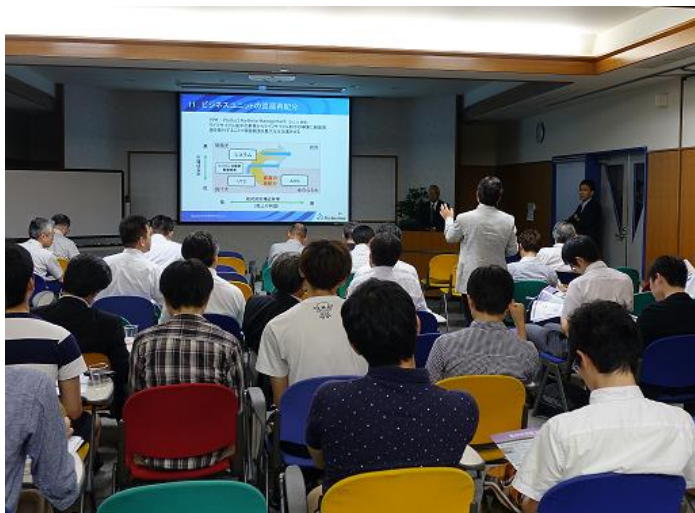
「製造工場では、IoT の普及を基盤とする 2014 年の第 4 次産業革命を起点として、さまざまな機器をネットワークで繋げることにより、生産管理、品質管理、設備管理などの情報を集めた「工場の見える化」を推進しています。この「スマートファクトリー化」に向けたソリューションとして、ノンプログラミングでエクセル帳票を Web 画面に変換する身近なシステムを開発しました。これは、1996 年の産業機械マニュアルの VTC 事業あるいは ADS 事業から始めて、2011 年に XC-Gate システムとして完成したものです。その後、PLC を介して、機械データと手入力データを合わせ製造の M2M を見える化するという生産管理支援の電子化へと展開し、さらに通信プロトコルの搭載へと進めています。自動車関連工場を中心として、同開発システムの応用展開を行ってきました。ゼロから起業して 20 年で売り上げが 10 億を超え、ベンチャー起業として IPO を目指してきました。」とのことです。

講演の後、質疑応答の時間が設けられました。会場からの質問として、「産業機械マニュアルのコンテンツ作製事業から、いかに XC-GATE.PLC の開発へと発展させたか？」については、「現場では、品質低下を防止するために、具体的なイメージをオンサイトで提供できる必要がある。これに重要な役割を演じてきた写真による呈示技術をきっかけにして、検査と結びつけることを考えた。」と、また、「作業の見える化、機械の見える化から、いかにソリューションに結びつける提案を行うか？」に対しては、「スタートのスケジューラに関する技術があるので、

これと3Dの表現技術を絡めて、創造力をもって対峙したい。」とそれぞれ回答しておられました。VTCから始まって、市場占有率の高いマニュアル技術と市場成長率の高い「見える化」技術の統合先に、いかなる技術的發展と社会へのソリューションをもたらすか、今後の木下様のご活躍に一層期待申し上げます。



講師：木下 武雄 氏  
(昭和40年機械科卒、24回生)  
株式会社 テクノツリー  
代表取締役



(株)テクノツリーの社員様も聴講頂きました。



ワインとサンドイッチと共に